



# お元気ですか！

## 志村 たかよし です

第852号 2017年8月20日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1  
電話 3546-5563  
FAX 3546-9570

### 環境建設委員会 視察

## 湊二丁目東地区建設現場 と 水素エネルギー関連施設



事業者は、三井不動産レジデンシャルで、工事施工は大成建設。総事業費は約245億円ですが、その31%にあたる約76億円もの税

を視察しました。事業は、2棟のタワーマンション計画となっていますが、今回は、今年12月に竣工が予定されている高さ約130m、地上36階・地下1階のタワーマンションの建設現場を視察しました。

私が所属している環境建設委員会は、7月21日に市街地再開発事業と水素エネルギー関連施設の視察を行いました。

区議会の各委員会は、区民施策の充実にいかすため、視察を行っています。

**76億円の税金投入**  
「湊二丁目東地区市街地再開発」  
「タワーマンション建設現場を視察」

金が交付金として投入されます。

区画整理と市街地再開発を同時に

湊二丁目東地区のまちづくりは、他の大規模開発とやり方が違い、「土地区画整理事業」と「市街地再開発事業」を一体的に実施しています。

区画整理によって、道路や広場などの基盤整備とともに個別建替えの土地と超高層ビルを建設する土地を決め、権利者の「タワーマ



建設会社職員も写真を撮っていました。

ンションに住みたい」「一戸建てに住みたい」等の希望に沿った選択が可能な仕組みとなっています。これは、地権者の方たちの「超高層ビル計画反対」という粘り強い「たたかい」が、区議会や中央区を動かした成果です。視察では、マンション居住者でも入ることができない屋上（上写真）にのぼるとともに、内装中のお部屋も見学しました。眺望はいいですが、体が浮いているような感覚になり、「私はこの高さでは生活できないな」と思いました。



屋上から見える佃大橋と佃・月島の街

## 目に見えない水素を見て触って体験しながら 楽しく学べる総合的な学習施設を視察

環境建設委員会で視察したもう一方の施設は「東京スイソミル」です。

この施設についてパンフレットでは「環境先進都市・東京都が目指す水素社会のショーケース。目に見えない水素のこと、誰も見たことのない将来像を、見て触って体験しながら楽しく学べる総合的な学習施設」と紹介されています。さっそく私は、自転車をこいで



水素と酸素をつくる実験（上写真）にチャレンジし、汗をかいて製造（？）した水素をミニカーに補填し、サーキットで走らせました（左写真）。

体験しながら学ぶ…。私が小学校の時に通った科学センターを思い出しました。

スイソミルには展示室もあり、「水素エネルギーの可能性」「水素社会の仕組み」「水素社会のい



ま」「水素社会と私たちの未来」など6つのゾーンで構成されていました。

また、イベントも随時行っており、大人も子どもも楽しく学べる施設だと思いました。入場は無料です。

その後、有明にある「イワタニ水素ステーション」を視察（左写真）しましたが、ちょうど、都の水素バス（FCバス）が水素燃料を補給しに来ていました。

今後も水素エネルギーの普及に注目していきたいです。



水素ディスプレイの充填（給油）口



都バスに水素を充填しています。